

岩木川ダム 統管だより

091号
2024年
(令和6年)
11月20日

秋のライトアップ
ダム警報訓練を実施
合同現場安全パトロールを実施
水陸両用バス・スペシャル運行実績
白神が故郷橋パーク冬季閉鎖
ダム周辺に暮らす鳥
今月の“つがるの昔っこ”

表紙説明: 浅瀬石川ダム今年度初の積雪

秋のライトアップ



令和6年10月18日(金)から11月10日(日)の24日間に浅瀬石川ダム、津軽ダムにおいて「秋のライトアップ」を行いました。

10月中はハロウィンをイメージしたイメージキャラクターの動画を堤体に投影しました。また、津軽ダムで配布している「ダム印シール」もハロウィン風のデザインにしました。

11月はイメージキャラクターが秋を楽しむ動画を投影し、津軽ダムでは紅葉をイメージした「ダム印シール」を配布しました。

日が短くなったことで、春や夏よりもライトアップ開始時間を早めました。そのため、天気の良い日は夕陽とライトアップを楽しまれる様子も見ることができました。



▲浅瀬石川ダム



▲ハロウィン風ダム印シール



▲津軽ダム



▲秋のダム印シール

ダム警報訓練を実施しました

令和6年10月30日(水)に津軽ダムの大規模洪水を想定したダム警報訓練を行いました。

ダムから放流があることを地域の皆様にお知らせする役目を持つ警報設備(スピーカー及びサイレン)を実際に作動させ、各警報所からの聞こえ方の確認、住民の方への周知をし、現地では西目屋村村市地区 成田会長に警報を聞いていただきました。

岩木川ダム統管理事務所ホームページでは、浅瀬石川ダム、津軽ダムの放流時の警報パターンを聞いていただくことができます。ぜひお試しください。

また、岩木川ダムメールで放流情報などを配信していますので、ぜひご登録、ご活用ください。

▼こちらからでも聞くことができます。



〈浅瀬石川ダム〉 〈津軽ダム〉



▲警報設備の確認の様子



非常用洪水吐からの放流の警報は、非常に重要な放送です。周辺もかなり危険な状態になります。万が一の時は命を守る行動をとりましょう!



▲成田会長(左)と確認をしました

岩木川ダムメール

～ダム放流をあなたのスマホにお知らせします～

浅瀬石川ダム、津軽ダムの放流情報やイベント情報などをメールでお知らせします。登録は無料。両方のダム、片方のダムのみを登録することも可能。登録方法は下記の通りです。

- STEP 01 はじめに** 受信制限機能を利用している場合は「sg-p.jp」ドメインのメールが受信できるよう設定をお願いします。
- STEP 02 サイトへアクセス** 右のQRコードを読み込むか、下記のアドレスを入力してください。
<https://plus.sugumail.com/usr/iwakigawa-dam/home>
- STEP 03 仮登録(空メール送信)** 空メールを送信すると仮登録完了メールが届きます。URLを選択し、本登録サイトへアクセス。指示に従って必要事項を入力してください。
- STEP 04 登録完了** 配信が開始されます。



〈ダムメール〉



合同現場安全パトロールを実施しました

令和6年10月16日（水）に岩木川ダム統管理事務所事故防止対策委員会の活動の一つとして、

- ・浅瀬石川ダム左岸管理用道路法面对策工事（受注者：アサヒ建設 株式会社）
- ・津軽ダム構造物補修工事（受注者：株式会社 南建設）

の合同現場安全パトロールを実施しました。

パトロールには、弘前労働基準監督署、工事・業務受注者24社および当事務所職員が参加しました。

現場事務所や作業箇所を回り、安全に工事が進められているかなどを点検し、不安全なものや、参考となる好事例などについて確認や写真撮影などを行いました。

パトロール後は西目屋村公民館に移り、パトロール中に撮った写真を見ながら意見交換や確認を行いました。

その後、弘前労働基準監督署 山脇 雅史 署長による安全講話を催しました。昨年度の労働災害発生状況などについての説明を聞くことができ、作業時の安全について改めて考える機会となりました。



▲挨拶・事前説明の様子



▲現場事務所点検の様子



▲安全講話の様子



▲点検箇所確認の様子



▲工事現場点検の様子



▲工事現場点検の様子

ニシメヤ・ダムレイクツアー

水陸両用バス・スペシャル運行実績



令和6年10月31日（木）に津軽ダムのダム湖を活用した水陸両用バス『津軽白神号』（企画実施：一般財団法人ブナの里 白神公社・津軽白神ツアー）は、今年の営業を終了しました。

令和6年度は年間で7,545名が乗車され、平成29年度の運行開始から8年間の累計では70,764名が乗車しています。

また、水陸両用バス乗車に「津軽ダム内部見学」が付いたスペシャル運行は、今年で6年目となりました。こちらは、5月から10月まで毎月第4金曜日（午前と午後の2回）実施し、延べ12回、乗車人数は225名で、6年間の累計は1,245名です。

昨年に続き、今年も予定どおり12回の運行が無事に実施することができました。北海道から熊本まで、さまざまな地域の方がスペシャル運行に参加してくださいました。お帰りの際は「楽しかった」「参加して良かった」などの声もいただくことができました。

西目屋村を訪れる多くの方々がダム見学を楽しみ、ひいては水源地域活性化に繋がるよう、西目屋村の担当者や一般財団法人ブナの里白神公社・津軽白神ツアーと連携して、来年度も引き続きスペシャル運行に協力してまいります。



▲見学の様子



▲監査廊の中



▲津軽白神号

白神が故郷橋パーク



11月25日(月)
13:00から
冬期閉鎖します

白神が故郷橋パークは、11月25日(月)
13:00から入口ゲートを冬期閉鎖します。
以降は津軽ダムパーク等をご利用ください。
(降雪の状況により閉鎖が早まる可能性があります。
※詳細は、HPをご覧ください。)

●岩木川ダム統管理事務所ホームページ <https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

ダム周辺に暮らす鳥を紹介します



名前

カワアイサ

九州以北に冬鳥として渡来。湖沼、河川などにすみ、魚の捕らえて食べます。オスは頭と背が緑色光沢のある黒色、メスは頭が茶褐色なのが特徴です。「ガア」と鳴くよ!



今月の昔っこ (昔話)

岩木川ダム統管理事務所のホームページでは、毎月1話 津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。

事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第31作目となる11月のお話は『猫屋敷①』です。

宿屋にお梅という女中がいました。お梅はタマという猫をかわいがっていましたが宿屋の女将は猫嫌い。そんなあるときタマが急に居なくなってしまいます。旅のお坊さんからタマの居所を聞いたお梅はタマに会うために山へ向かったのであった。



編集後記



11月7日に初雪が見られた浅瀬石川ダムの見学会は通年でおこなっていますが、津軽ダムは11月25日(月)で終了の予定です。

昨年まではコロナウイルス感染症対策で、堤体内に入る人数を制限していましたが、今年は人数制限を解除しました。

堤体内にあるエレベーターは総重量1000kgまでとなっています。小学生のみなさんの見学会では、1回目のエレベーターにどんどん人が入って行き、2回目は数人で広々と下におりることが何度もありました。まだ入るのか! もっと入るのか! とほほえましく見ていました。来年はどんな出会いがあるのかな、と楽しみにしながら、ヘルメットのメンテナンスのことを考えています。(宮川)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (X(旧Twitter))

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス
<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式X(旧Twitter) @mlit_iwakito